

チャリティコンサートで演奏する中沖さん(右)と渋谷さん
 ー小矢部市内の料理店



庭園に響く支援の調べ

小矢部でチャリティ演奏会

東日本 大震災

小矢部市津沢の料理店、魚政亭の別館「月あかり」で15日、東日本大震災チャリティコンサート「祈り 今、私達に出来ること」(富山新聞社後援)が開かれ、ピアニストの中沖いくこさん、バイオリンストの渋谷優花さんが、みやびな和風庭園に善意の調べを響かせ、多くの来場者が聴

き入った。

中沖さんは昨年、月あかりでの演奏会に出演しており、今回は店主の浅地政博さんと共に被災地支援のコンサートを企画した。

東日本大震災が発生した午後2時46分に合わせ全員で黙とうした後、開演した。前半は中沖さんがピアノ独奏で、ショパンの情熱的な「革命」、しっとりとした「ノクターン」などを演奏。モーツァルトの「トルコ行進曲」では聴衆がひざをたたく音を鳴らし、行進の演出に参加した。後半は渋谷さんが加

わり、クライスラーの「美しきロスマリオン」「プレリユードとアレグロ」など3曲を、表現力豊かなバイオリンの旋律で奏でた。

アンコール2曲の後、被災者のふるさとがよみがえり、早く帰るようになることを願って、唱歌「故郷」を演奏し、聴衆も合唱した。

チケット代と、魚政亭に設置の募金箱の分を合わせた26万2803円は後日、富山新聞社を通して被災地に贈られる。